

歯周組織炎 (P急発など) (感染性)口内炎で、 患者さまへ **投薬** できます。

処方箋 (この処方箋は、どの保険薬局でも有効です。)									
公費負担者番号				保険者番号					
公費負担医療の受給者番号				被保険者証・被保険者手帳の記号・番号 (枝番)					
患者	氏名			保険医療機関の所在地及び名称					
	生年月日 明大昭平令 年月日 男・女			電話番号					
	区分 被保険者 被扶養者			保険医氏名					
				都道府県番号		点数番号			
交付年月日 令和 年 月 日			処方箋の使用期間 令和 年 月 日			特に記載のある場合を除き、交付の日を含めて4日以内に保険薬局に提出すること。			
処方	変更不可 (医療上必要)	患者希望	個々の処方箋について、医療上の必要性があるため、後発医薬品 (ジェネリック医薬品) への変更差し支えがあると判断した場合には、「変更不可」欄に「レ」又は「×」を記載し、「保険医署名」欄に署名又は記名・押印すること。また、患者の希望を踏まえ、先発医薬品を処方した場合には、「患者希望」欄に「レ」又は「×」を記載すること。						
			<p>テトラサイクリン・プレステロン 歯科用軟膏 5g × 1</p> <p>1日 4回、毎食後及び就寝前に塗布</p>						

綿棒または指でくすりを塗布



抗生剤に加え、
抗炎症剤を配合

歯科用抗生物質製剤 医薬品 薬価基準収載

テトラサイクリン・プレステロン 歯科用軟膏



【包装】5g × 10本入 (チューブ) 【貯法】室温 (1~30℃) ・ 避光保存

●用法・用量、禁忌、使用上の注意については注意事項等情報を参照してください。

レセプトへは
TCPS パスタと略称記載が可能です。

有効成分

抗生剤

テトラサイクリン

歯周炎治療に有効なテトラサイクリン系の抗菌剤です。



抗炎症剤

プレステロン

抗炎症作用、鎮痛作用、治療促進作用を有します。

投薬

● 患者様への投薬が可能

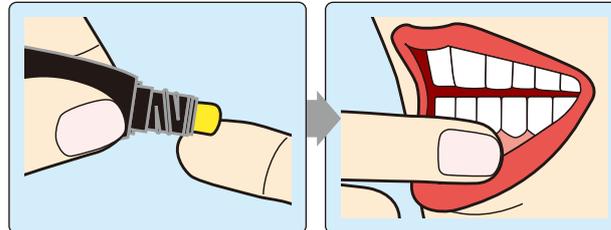
患者様への説明に便利なくすりのしおりは弊社ホームページまたはくすりのしおりホームページ (<https://rad-ar.or.jp/siori>)よりダウンロードできます。

適応症

- 歯周組織炎の治療に
- 抜歯創・口腔手術創の二次感染予防に
- 感染性口内炎の治療に

使用方法

- ① ご使用前に患部（炎症部位）を清潔にし、唾液や滲出液を脱脂綿などで、できるだけ拭き取ってください。
- ② 清潔な手指や綿棒などに軟膏を適量取り、1日に数回患部に塗布、またはよく擦り込んでください。
- ③ 塗布後はしばらく（1時間程度）うがいや食事を控えてください。



歯科用抗生物質製剤

エビジヒドロコレスチリン・テトラサイクリン塩酸塩軟膏

テトラサイクリン・プレステロン 歯科用軟膏

TETRACYCLINE PRESTERON

2023年11月改訂(第1版)

販売名	和名	テトラサイクリンプレステロン歯科用軟膏	承認番号	13513KUZO4123000
一般名	洋名	TETRACYCLINE PRESTERON	販売開始	1965年 1月
日本標準商品分類番号	名	テトラサイクリン塩酸塩・エビジヒドロコレスチリン	貯法	室温保存
		87276	有効期間	2年

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

テトラサイクリン系抗生物質に対し過敏症の既往歴のある患者

3. 組成・性状

3.1 組成

有効成分	1g中	日本薬局方 テトラサイクリン塩酸塩	30mg (力価)
		エビジヒドロコレスチリン	20mg
添加剤	カルメロースナトリウム、白色ワセリン、サラシミツロウ、ハッカ油		

3.2 製剤の性状

性状	本剤は黄色の軟膏である。
----	--------------

4. 効能又は効果

〈適応菌種〉テトラサイクリン感性菌

〈適応症〉歯周組織炎、抜歯創・口腔手術創の二次感染、感染性口内炎

6. 用法及び用量

1日数回、患部に適量を塗布又は塗擦する。

8. 重要な基本的注意

8.1 感作されるおそれがあるので、観察を十分に行い、感作されたことを示す徴候（痒疹、発赤等）があらわれた場合には使用を中止すること。

8.2 耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、疾病の治療上必要な最小限の期間の使用にとどめること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ使用すること。また、長期使用を避けること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

9.7 小児等

長期連用により歯の着色・形成障害をきたすおそれがある。

9.8 高齢者

大量又は長期にわたる使用に際しては特に注意すること。一般に副作用があらわれやすい。

10. 相互作用

10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ハロゲン剤（ヨード、次亜塩素酸）、金属の塩類（カルシウム、マグネシウム、アルミニウム、鉄剤等）	本剤の作用が弱弱することがある。	機序は不明である。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発疹等
菌交代現象	テトラサイクリン非感性菌による感染症

14. 適用上の注意

14.1 薬剤使用前の注意

使用の際は、患部の唾液等を脱脂綿等で拭き取り、患部をなるべく乾燥させること。

14.2 薬剤使用後の注意

塗布後はしばらく（1時間程度）うがいや食事を控えること。

15. その他の注意

15.1 臨床使用に基づく情報

テトラサイクリン系抗生物質の経口投与（胎生・乳幼児・小児期での連用）により、歯の着色・形成障害が見られるという報告がある。

22. 包装

5g×10本（チューブ）、0.6g×10本（カートリッジ型容器）

* その他の注意事項等情報については電子添文を参照してください。

別包装品



院内処置に

歯科用抗生物質製剤

テトラサイクリン・プレステロン 歯科用軟膏

【包装】0.6g×10本入（カートリッジ型容器）

販売店名

Nippon Shika Yakuhin Co., Ltd.